



みなさん、こんにちは

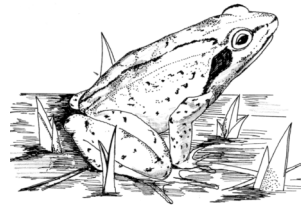
おかげさまで、議会活動2期目に向けて動き出すことができました。これからも、これまで同様に一生懸命に活動をしていくつもりです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

今回は、定例議会の報告はありませんが、選挙のこと、選挙後のこれからの活動、そして、5月9日の初議会のことなどについてみなさんに報告します。

とても、嬉しかったこと・・・

■レポートを読んでくださる方から、たくさんの電話やお便り、ハガキをいただきました。本当は、もっともっと普段の活動中に、みなさんとお話をさせていただく機会をつくらなければならないと思っていますが、なかなかそのような場を作ることは難しいです。でも、今回は、ずいぶん多くの方々とお話をすることもできたと思います。■後援会活動や選挙運動期間中、その行動にもいくつかの公職選挙法に決められている制限があり、普通に接することが難しい中、多くのみなさんとお話もできました。これからの活動のヒントややらなければならないこと、そして何よりも励みになりました。ありがとうございました。

今年の春は、思った以上に気温が低く、桜も17日に咲きました。農作業の遅れが心配です。それでも知床五湖では4月下旬には、湖のまわりでエゾアカガエルが鳴いていました。



オオジシギも夜遅くまで鳴きながら飛んでいます。生き物は繁殖の季節です。

4年前も書かせていただきましたが、今回も少しだけ議員が「やってはいけないこと」

- ・選挙運動期間中（5日間）は、候補者がタスキを、腕章をつけて、有権者のお宅へ（敷地内らしい）入ってはいけない。
- ・インターネットやブログなどの更新や書き込みをしてはいけない
- ・運動期間中の運動員含めてお昼のお弁当予算は1000円以内？お茶菓子も500円以内？
- ・当選後に、お礼の文書を送るときは自筆でなくてはいけません。自筆をコピーしても印刷と見なされダメらしい。
- ・選挙運動期間中などにかかわらず、議員は冠婚葬祭で花を出してはいけない（名前をつけてはダメってこと？）
- ・お葬式に出席できないときはお香典を出してはいけない（本人以外ダメらしい）
- ・お土産も、年賀状も、有権者にはいけない（友人は？）
- ・お歳暮、お中元も原則禁止らしい。

4年に一度なので「なんだかおかしいねー」と言うこともなかなか改正されませんし、きっとこのような曖昧な状況でこれからも続くのだと思います。で、これらの違反が摘発されるのは「悪質とみなされた場合」とのこと、その基準も曖昧かも知れません。いずれにしても、少し気をつけていかなければならないのは事実ですね。（私が聞いた範囲でのこと、もしかすると解釈では違うかもしれませんが・・・）

町長が変わっても議会の役割 議員の役割は変わりません

一期4年を務められた村田町長から、馬場さんに町長が変わりました。町長はまちのみなさんが選びます。そして、町議も同じです。議員が、町長を応援する立場とか、あるいは反する立場で町政に臨むと言うことは地方議会では、おかしい事です。国会は、政党政治ですから国民の投票で選出された議員が、代表を選出し、政権政党が首相を選出します。ですから、与党と野党がいます。でも、地方は違います。

私は、これまで同様に、まちの政策に対し、まちのためになることだろうか？を一番に考えて、これからも臨んでいきます。

時には「桜井さんは町長をいじめる」と言われることや、逆に「あんたは与党か？町長を擁護して」とも言われましたが、良いことは良い、悪いことは悪いとして取り組んできたことです。

これからも、その姿勢は変わりません。どうぞよろしくお願いします。

やはり
是々非々
でしょう！



5月9日・第3回臨時議会（初議会）が開催されました

4年前は、なにがなんだかかわからずに初めての議場で緊張していましたが、今回は2回目。緊張する間もなく仮議席のくじを引き、6番目の席に座り、議場には役場の人達が入ってきて（町長と部長職の人達）会議が始まりました。

新しい議会事務局長の町民憲章の唱和から始まりました。

馬場新町長の挨拶があり、職員紹介となりました。変わったのは病院事務長と議会の局長でした。

議長の選出が行われました。「議場を閉鎖します」と言うことで、役場職員も退席して、投票という選出方法で議長選挙が始まりました。（不思議なことですが、いきなり推薦候補も立候補もなしに投票・・・と言うのも不思議ですが、事前に調整が行われているので、この不自然さでもかまわないようです。）立会人2名、投票箱の確認などを行います。

議長は開票の結果、これまで通り木村議長が選出されました。14名中14票。

副議長の選出も同じように投票で行われました。

立会人に指名されたので、開票結果の票をチェックしましたが、少し驚き。投票用紙に書かれた文字や書き方にはとても大人が書いた？と思うような票もありました。そして何も書かれていない白票が1票。他にも目を留めるような文字もありましたが、なんとか解読できましたから有効票になりました。きっと、いろいろな思いがあったのでしょう・・・。結果は14票中、13票白票1票で、阿部副議長が決定しました。

その後も、順番に従い委員会、所属機関などが決まり、初議会の議会人事は終わりました。

新しい議席は8番・上の段の議長席に向かって右側。全体を見渡せる位置になりました。これまでのように後ろを振り向き、物知な先輩議員に教えてもらうことも、もうできません。がんばります。



議会は変わる？変える？

「議会基本条例」を策定する取り組みは、今議会でも特別委員会として継続設置がされました。よくある話ですが、制定されていても形だけ・・・と言う議会も多いと、先日の討論会でリンカーンフォーラムのコーディネイターの方も言うておりましたし、今年1月の研修会で神原先生も話していました。結局、変えるのも変わるのも議員次第と言うことです。今回の選挙でも、「見える議会」を口にされていました。では、見える議会とはどのようなことでしょうか？なにをすれば「見える議会」になるのでしょうか。私は、議会が何を目指して、どうするためにこの議会基本条例の策定に取り組むのかについても、その過程をこれから、みなさんにお知らせしていきたいと思います。



もっと、知ろう！原発のこと

町ですれ違った子どもたちの会話に「放射能っておっかないね・・・」と。本当に怖い物ですが、私たちには正確な情報がありません。それも、恐ろしいことです。いたずらに騒ぐことはいけませんが、でも命を守ることを一番に考えるべきです。危機管理とは命を守ることです。

お知らせ・・・

6月19日（日）に斜里
有志による映画の上映会が行われます。

「ミツバチの羽音と地球の回転」

ぜひ、多くの人に観てもらいたいと思います。詳しくは広報などでお知らせがあると思います。注目してください。

3月11日の震災と原発事故のこと

震災被災地に対して、町の一般会計から500万円の、町民のみなさんからは2200万円を超える義援金を送られました。私のまわりでも現地にボランティアで支援に向かわれた方がたくさんいました。これからも、継続して私たちができることを続けて行かなくてはなりません。町として今回の災害に関しての対応は、ホームページを見るとわかります。

原発事故は本当に深刻です。オホーツク管内に原発はありませんが、原発については皆が考えていかなければならないと思います。そのためにも、まず情報をしっかり捉え、自分自身で考えて。

町にあるたくさんの課題・継続事業・新しい事業を少し整理してみます

・新しいゴミ処理場の建設と稼働開始にむけての準備、整備

来年4月に稼働予定になっているゴミ処理施設です。ひとくちにゴミ処理施設と言ってもいくつかの施設に分かれて建設されています。越川地域に建設が進んでいます。

一般ゴミは高温高压方式

生ゴミは高速堆肥化施設

小動物焼却炉施設

最終処分場処理施設

これら施設に伴う水処理施設



これらの建設が予定通りに進んでいくことも重要ですが、同時に、越川地域のみなさんとの協議会の設立、稼働してから、新しい自治体では初めての方式の採用ですから、そのまま企業からの引き渡しにはならないはずです。運用が落ち着き、問題点などの拾い出し、改善などいくつかのリスクに対応できるような取り組みの体制を作り、順調な稼働確認をするまでしっかり責任を持つこと。そして、その後の管理システムも構築していかなければなりません。そして、私たち住民も、これまでと違う方法での収集になるのか？なにに気をつけて行かなければならないかなど、やることはたくさんあります。



・町の公的な住宅整備について

昨年、会派説明で公営住宅建設地について町から説明を受けましたが、その後については話が出ていません。町は、今後取り組む住宅計画の策定を行っています。これからの社会的状況の変化をも視野に入れた計画です。その計画との整合性も含めて、老朽化の進んだ住宅に対しても早く検討して行かなくてはなりません。同時に、ウトロ地域から要望書も出されている雇用促進住宅の入居についての検討も現実に沿ったものにして欲しいと思います。

・国保病院の医療体制の充実としっかりとした病院改革プランの策定

内科医師が2名体制となりました。これからも医師確保は必要な課題ですが、同時に、これからの病院の運営についての計画策定が必要になります。町の現状にあった計画であるべき、と思います。

・福祉施設、高齢者医療の問題、介護体制の充実など

介護施設への入居を待つ人も大勢います。また、高齢者の方が自宅で介護される環境も整えて行かなくてはなりません。町でできること、民間と一緒に環境を整備していくことなど、町の福祉に関する現状をしっかりと整理し、取り組んでいくことが必要です。



・教育に関する問題

国の言う35人学級とは少し違う視点からの、少人数学級に対する取り組みが必要だと思います。同時に、少子化の中で複式学級などに対しての学習環境の改善も必要です。老朽化した温水プールについても、本当に廃止してしまうのでしょうか？代替施設のメドは？図書館の建設についても用地選定、建設に当たっての基本設計など取り組みが必要になります。丁寧な計画は経費の削減にもつながるはずです。



・商業、観光産業に対しての細やかな対応がもとめられます

今回の3月11日の震災、そして収束の見えない原発の問題は、一番に商工観光に影響を及ぼしてきます。行政でできる対応処置、あるいは情報の収集が必要になります。観光に対する取り組みも、今まで以上に積極的に近隣エリアと連携しながら取り組まなくてはなりません。

書いていくとキリがありませんが、本当に、今やっている事業をもっと私たち町民にとって良い事業になるような取り組み、きめ細やかな取り組みにと、改善して行かなくてはなりません。そのためにも、みなさんの日常生活の中からの声を出していく必要があります。どんな小さな事でも、一緒に取り組んで行くことが、今、まちづくりのしっかりとした基盤になるものと思います。

こんにちは 後援会長の松本です

この度2期目の挑戦で再び町議になることができました。ありがとうございます。
一期4年の実績が皆様に理解されたのではないかと安心しているところです。
今回の選挙の特徴を考えてみますと町長選については保保の選択であり、町議選については選挙があるかないかと言われていましたが、結局は6名の新人が名乗りを上げたことです。

それも新人が大量に票を伸ばしたことは、町民は町行政や議会に対して変革を求めているのではないかと推察しているところです。

新町長や新議員は町民の負託に応えるため全力を尽くしてほしいと期待をしています。

選挙は目的ではなくスタートラインです。情報収集と情報の発信そして意見を言うことだけでなく、町民と一緒に汗をかき行動することではないでしょうか。いくら立派なことを言っても誰も行動しなければ机上のプランと同じですし、何も前進しません。「問題がないのが問題」問題が表に現れる前に問題を察知する能力が非常に大切ではないかと思います。

この度の東日本大震災、そして原発事故を考えてみますと正確な情報収集が欠けていたこと、また情報が操作されているのではないかと思います。被害にあわれた方々の怒りや苦労を考えると真剣に迅速に行動をしてほしいと痛切に感じているところです。大震災、原発事故は日本経済に大きな後遺症を残すと思いますが、日本人の勤勉さ、精神力、信頼性を通じて回復することを念願しています。

ぐれずに、巻き込まれずに、やるべき事をやっていく姿勢を変えることなく行動する、桜井をこれからの4年間も、よろしくお願いします。



家庭菜園の季節
ですね。こちらも
励みます。会長

2011年5月19日

桜井あけみ後援会 会長 松本鉄男

お知らせと・お願いです

- *「議会レポート」をこれまで同様に、定例会ごとにみなさんにお送りしようと思っています。
- *このレポートを「もういらない」「送ってほしくない」と言う方がいらっしゃいましたら、申し訳ありませんがご連絡下さい。
- *「読んでみたい」、あるいは「届いていない」と言う方がお近くにいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。お送りさせていただきます。
- *「議会レポート」はホームページにも掲載します。HPで読むから・・・と言う方もいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。メールでもけっこうです。
- *毎回、書いて、印刷して、折って、封筒に入れて・・・の作業を続けることは、私自身にとっても大切な振り返りと整理のできる時間です。これから、4年間、さばらずにこれまで同様に続けていく努力をしますので、どうぞよろしくお願いします。

斜里は本当に海も畑も山も町も、豊かですばらしい環境の町です。私たちの町をもっと、住み良い町に！



■ ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>

桜井あけみ 議会レポート

■ ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/> コメントを待っています。

「桜井あけみ後援会」

メールは koe@akemichan.net へ